



RESOLUTION No. 9) HEALTH SECTOR

第9号決議) 保健部門

第29回国際公務労連 (PSI) 世界大会
2012年11月27日－30日、南アフリカ・ダーバン

以下を留意する：

保健部門は、南米南部を含め、国際公務労連 (PSI) の中でも最大規模の存在感と加盟組合数を誇るグループであり、我が国の加盟組合も、質の高い公的保健サービスを推進し、ヘルスケアの民間移譲を進める公共政策を拒否する重要な行動プログラムを実施してきた。

したがって、PSI大会で以下を決議する。

1.

国際公務労連は、ラテンアメリカおよび全世界の政府が保健サービスの外部委託、利権契約、民営化などのさまざまな形態を通じて推進する保健部門の民営化計画と今後も戦っていく。

2.

国際公務労連は、公共保健を守り、全市民のための質の高い公的保健サービスを保証する行動をとるため、社会活動家の組織、学生団体、公的健康保健制度の利用者と同盟を構築する。

3.

国際公務労連は、利用者からの相次ぐ暴力と、ヘルスワーカーに対する軍事攻撃という背景において、ヘルスワーカーのための職場の労働安全衛生を保証する世界政策を引き続き展開していく。

4.

保健作業部会の取り組みの強化と継続を図り、年次会議に最低4日間を設けるなど、これまで以上に時間をかけられるよう財源を配分する。

行動プログラムおよび規約を含む大会決議 [Congress resolutions](#) を参照のこと